



新しく追加されたプロパティ

newscale.properties

次の表は、他のモジュールの設定を制御できる、新しく追加された *newscale.properties* のリストです。

表 A-1 パッチリリースで導入された *newscale.properties*

プロパティ	説明
Serviceformelement.display.instructional helptext	このプロパティを true に設定すると、非グリッドディクショナリ フィールドのヘルプテキストに対して従来の表示スタイルが有効になります。
Serviceform.simtask.validation.skip	1 つ以上のサービス項目タスクがディクショナリに基づいて定義されている場合に、検証チェックをバイパスし、サービスからアクティブ フォーム コンポーネント (1 つ以上のサービス項目ベースのディクショナリを含む) が削除されないようにするには、このプロパティを true に設定します。
MAX_ALLOWED_SERVICE_ITEM_EXPORT_RECORD_SIZE	パラメータ (デフォルトは 1000) を設定して、[マイスタッフ (My Stuff)] ページおよび Service Item Manager モジュールから .csv ファイルにエクスポートできるサービス項目レコードを制御します。
servicecatalog.display.direct.category.service.association	このプロパティを true に設定すると、サービスに関連付けられているダイレクト カテゴリを Service Catalog から表示できるようになります。 (注) この機能では、3 つのレベルのカテゴリ階層のみ (Browse Category - All Showcase Location を占有するプレースホルダ カテゴリを除く) を表示できます。
serviceform.add.attachment	このプロパティを true に設定すると、Service Catalog モジュールからオーダーする際に添付ファイルが要求に追加されます。
ObjectCache.Environment.Name	プロパティを使用して、CPSC 環境に名前を割り当てることができます。このプロパティは、名前空間 Site.ENV を使用してアプリケーションで参照できます。 たとえば、電子メールが送信された送信元環境を特定するには、電子メール テンプレートでこの名前空間を使用します。デリミタとしてシャープ記号 (#) を使用して名前空間を解決できます。
localization.languages.export.limit=<export_count> localization.languages.import.limit=<import_count>	2 つのプロパティを編集して、インポートおよびエクスポートする言語数の上限 (デフォルトは 10) を指定できます。

表 A-1 パッチリリースで導入された newscale.properties (続き)

プロパティ	説明
servicecatalog.display.req.percentage.completion	このプロパティを true に設定すると、[サービスカタログ (Service Catalog)] > [マイスタッフ (My Stuff)] > [オープンオーダー (Open Orders)] ページで完了率を表示できます。
nsapi.directory.person.hide.secure.information	このプロパティを true に設定すると、password 属性の暗号化された値と cloudpassword 属性のクリアテキスト値を非表示にできます。
localization.languages.column.display.limit = <count>	このプロパティを編集して、グリッドに表示される言語カラム数の上限 (デフォルトは 4) を指定できます。
modules.ordermanagement.disable	このプロパティを true に編集して、エンドユーザが Service Catalog または Service Manager から Order Management モジュールに直接アクセスできないようにすることができます。
serviceform.element.serverside.editable.disable	このプロパティを true に編集すると、サーバ側でのみ編集可能を無効にできます。
deployment.service.authtask.agent.parameters.override	このプロパティを true に編集すると、外部承認および確認タスクのオーバーライドされたパラメータ値を展開後も保持できます。
servicecatalog.orderonbehalf.enable	このプロパティを true に設定すると、新しい代理オーダー機能が有効になります。
serviceitem.remove.nextline	このプロパティを true に設定すると、.csv へのエクスポート時に、マルチライン サービス項目フィールドの値がシングルライン値に変換されます。
nsapi.person.create.trigger.email.enable	このプロパティを true に設定すると、nsAPI を使用した新しいユーザアカウントの作成時に電子メールが有効になります。
ldap.enabled.prevent.user.password.update	Directory Integration が有効になっている場合にパスワードに関連するフィールドが表示されないようにするには、このプロパティを true に設定します。
enable.legacy.cr.isfjs.show.hide	このプロパティを true に設定すると、CR と ISF JS の表示/非表示の従来の機能に戻すことができます。
serviceitem.update.customer.details	このプロパティを true に設定すると、更新操作の実行中にサービス項目インスタンスのサブスクリプション情報を更新できます。
serviceform.ddr.null.value.as.empty	このプロパティを true に設定すると、サービス フォームのすべてのディクショナリ フィールドに対して、空白などの場合の値のレンダリングが有効になります。
Serviceform.helpicon.clickable	このプロパティを true に設定すると、クリックすることでヘルプ テキスト ポップアップを閉じる [?] アイコンが有効になります。
showAllTransactionsMessages	このプロパティを true に設定すると、ページの読み込み中に Service Link のメッセージ タブのデフォルト フィルタを無効にできます。
prevent.queue.task.self.perform	このプロパティを true に設定して、キュー実行者が自身の要求のために、Service Manager または Order Management モジュールから承認、確認、およびモニタ プランのタスクにアクセスできないようにすることができます。
admin.setlocale.global	このプロパティを true に設定して、デフォルトの言語設定をシステムの新規ユーザと既存ユーザの両方に影響を与えるグローバル設定にすることができます。
session.token.nsapisc.validation	このプロパティを 1 に設定すると、Service Catalog からの nsAPI の呼び出しに対してトークンベースの検証が有効になります。

表 A-1 パッチリリースで導入された *newscale.properties* (続き)

プロパティ	説明
htmlscan.enable	このプロパティを 1 に設定すると、システムでユーザ入力をスキャンし、適合していない内容を削除できます。
serviceitem.nsapi.rbac.check	このプロパティを false に設定して、サービス項目ベースの nsAPI に対して RBAC チェックを無効にできます。

